

いきものふれあいの森 通信

2026.3.21 第16号



松本市エコスクール

冬の自然観察会「小さな春をみつけよう！」



北アルプスがきれいに見え、晴れ渡った2月21(土)、松本市環境・地域エネルギー課によるエコスクールが開催されました。自然観察の会ひこばえの村上さよ子氏、山と自然博物館学芸員の内川潤季氏案内のもと森の入口休憩所から出発しました。少し暖かくなってきたとはいえ、まだまだ春の様子は遠く、一見殺風景にも見えますが、一歩踏み出せばあちこちに植物や昆虫の発見がありました。



足元に目を向けるとオオイヌノフグリが咲いていました。色々なところで見かけますが実は外来種(帰化植物)です。



そして上を見ると虫こぶができていました。ボールのような形は見たことがありましたが、またちょっと違った形の虫こぶです。その他にもヤママユの緑色の繭や枯葉を利用したクモの卵囊、そしてフクジュソウなどあちらこちらに発見がありました。花の丘へ行き、別ルートで森の入口休憩所まで戻ってくるという観察会でしたが、2時間では足りないくらいの発見の連続でした。



3月になると森の入口休憩所前の池にはアオサギが来ていました。

皆様も小さな春を見つけに、お出かけ下さい。

伝言板

「アルプス公園サポートクラブ」

ボランティア 花の丘剪定作業

・場所 アルプス公園 花の丘

・日時 3月25日(水)、

4月1日(水)、8日(水)

午前8時30分～10時30分